

(様式第4号) 平成29年度第3回上田市スポーツ推進審議会 会議概要

1	審議会名	平成29年度第3回上田市スポーツ推進審議会
2	日時	平成30年2月26日 午後7時から8時45分まで
3	会場	教育委員会 第1会議室
4	出席者	小林会長、野口副会長、大槻委員、関委員、久田委員、廣川委員、松本委員、宮本委員、山崎委員、渡辺委員
5	市側出席者	教育次長、スポーツ推進課長、丸子地域教育事務所長、真田地域教育事務所長、武石地域教育事務所長、スポーツ施設係長、スポーツ推進係長、スポーツ推進係東日本総合計画㈱(計画策定支援業務受託者)
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成30年3月2日

協議事項等

1	開会 (スポーツ推進課長)	
2	会長あいさつ	
会長		年度末ということで施設整備計画もそろそろまとめ。様々なご希望ご意見があると思われるが、皆様に出していただき、計画策定の段階へ移っていきたい。
3	教育次長あいさつ	
教育次長		第3回ということで、いよいよ具体的に各施設の方向性が見えてくるかと思っている。平昌オリンピックが終わったが、今年の5月には、2018年のラグビーワールドカップの関係でイタリアチームが事前合宿地の上田市に来る。今年は上田西高校のサッカー部の活躍を皮切りに、様々なスポーツが上田で盛んになってくると思う。そうした中、本日とあと数回の審議会でスポーツ施設について様々な意見をいただき、よりよい答申をいただければと思う。
4	議事	
(1)	上田市スポーツ施設整備計画(素案)について	
事務局	議事(1)説明	上田市スポーツ施設一覧表No.1~No.15
会長		城跡公園の体育館の建替えは当然必要。しかし場所についてはまだ検討の余地があるのではないかという意見がある。一番大きな理由は立地条件の良さ。城跡公園の史跡についてどう上田市が考えているか。もしあれだけの素晴らしい条件の整った場所に体育館というよりも総合的な施設が一つできれば、将来の上田にどれだけの効果があるか検討の余地がある。スポーツ推進課のおおまかな考え方は良いと思うが、具体的にになった時にまだ協議する方向で考えてほしい。
委員		それでは、議事(1)について質問や意見があれば発言されたい。 真田体育館はよく利用するが、まだまだ他の体育館に比べると新しいと感じる。どこの施設から優先的に改修工事を行い、スポーツ振興や経済効果につなげていくのが大事になる。スポーツ推進課、地域協議会、体育協会で話し合い優先順位をつけて改修工事をしていくのが良い。
事務局		体育館やテニスコートは城跡公園外へ移転という話ではなかったか。 基本構想では城跡公園体育館一帯のエリアはゾーニングとしては位置づけておらず、移転させることとなっている。しかし今回の施設整備計画は全体としての方向性を示す計画のため、そこまで言及する必要はないものと考えている。この計画とはまた別途、個別の計画として策定していくため、その段階で審議会等のご意見をいただきながら策定していく。
委員		真田地域は施設が密集しており、スポーツを展開しやすい環境にある。様々な施設が複合、集まっている施設が一つできればいいと思う。
委員		武石においては、耐震改修はもう本当にしていかなければならないと感じる。

大規模改修を検討という言葉があるが、具体的に大規模改修の意味を教えてください。

事務局

旧町村にあったメインの体育館については、長寿命化、大規模改修をして、できるだけ長く使うという考えで、外壁内壁から床、天井、照明まですべてを改修して延命を図るという内容。

委員

施設が古く昨年雨漏りがした。怪我の元にもなるためなるべく早く改修をお願いしたい。

委員

城跡公園体育館については、地域的にスポーツ施設が固まっていることはすごく良いことで、できればあの場所に大きな体育館ができれば良いと思う。

大きな大会を呼ぶ際には利便性が大事。ここ数年交通網が発達したことにより車で来る人が多くなり、そうすると第一に駐車場が重要。また、子どもの大会には親が付添いで来るため、近くで観光や買い物ができることも非常に重要。

空調設備が付いている長野県内の体育館は、松本の総合体育館と長野のホワイトリングと軽井沢の風越アリーナ。北信越大会が5年に1回長野県に回ってきた時に、真夏の8月上旬に、猛暑の中大会を実施しなければならない状況がある。上田には宿泊施設は比較的あり使われているが、大会を行うのはなかなか苦しいと感じる。

上田市は県では期待されている。というのも、関東のスポーツ推進委員の研究協議会があと3・4年で長野県に回ってくるが、長野松本と実施してきて、次は東信でできないかと言われている。そうするとやはり上田。講演会や実技をすれば、サントミューゼの近くに体育施設があれば運営する側としては理想。

事務局

No.16～No.22 説明

会長

意見や質問があれば発言されたい。

委員

(なし)

事務局

No.23～No.50 説明

会長

意見や質問があれば発言されたい。

委員

(なし)

事務局

No.51～No.68 説明

会長

意見や質問があれば発言されたい。

委員

(なし)

会長

No.69～No.88 マレット・ゲートボールについては特段問題ないかと思う。

事務局

No.89～No.102 説明

会長

意見や質問があれば発言されたい。

事務局

弓道場についてご意見をいただきたい。施設整備計画の次の段階計画、運動公園整備計画で体育館とテニスコートを併せて移転する想定でいるが、そうすると弓道場だけが残る形になる。また、地域協議会や弓道協会から新体育館に合わせて移転するという意見をいただいております。これについては、次回の時までにはどちらの結論になっても良いような表現にしたいと考えている。

もう一点は市民の森スケート場の関係で、一次評価では再整備、廃止。東御市との共同運営であるが、東御市からは上田市の施設ではあるため基本的には上田市の考え方で、というお話をいただいている。地域協議会や体育協会からは、できれば残してほしいという意見を頂戴しており、特に地域協議会においては、更新の費用が高額であるが、ぜひ存続してほしいという意見が出されている。フロンガスに関し、モントリオール議定書によって、現在使用している冷媒の代替フロンが2020年に製造禁止となる。そうすると、ストック分がなくなる数年後に設備更新費5～7億円程度必要となる。利用者数も落ちてきており、利用料収入の約4倍の維持費がかかっており、維持費が年間2,500万円で、利用料収入は夏場のゴーカートを含めて500～600万円程度。この状況の中、数年後さらに5億、6億といったお金がかかってくる施設であることは間違いない。軽井沢や長野に良いリンクがあり、子どもたちにとってもそちらを利用の方がいいと感覚的に思う部分もあるが、市民の森スケート場についてどうすべきか難しいところ。ご意見を頂戴したい。

委員

小学校のスケート教室はどの程度実施しているか。軽井沢や長野へ行ってスケート

教室ができるなら、廃止も仕方ない気もする。

事務局

スケート教室については、菅平と武石小学校以外は東御市も含めて全小学校が1回は実施しており、スケート教室のみで延べ3,000～3,500人の利用。上田東御以外では青木村の小学校も来ている。地域協議会からの意見では、スケート場を廃止した場合に、維持管理費用を小学校のスケート教室のバス代等に充てることも一手段。

会 長

維持管理費が相当必要となると、そういった手段しかない。佐久はエムウェブでスケートをやっている聞いた。

委 員

維持管理と収入でバランスが取れていないが、やはり子どもたちのスケート教室をやっているという点でも目に見えない効果は必ずある。私も上田に越してきて、すぐ近くにスケート場があることは魅力であるし、手軽に行けて比較的安価で良いリンクのため、個人的には残してほしいという思いがある。代替フロンの残りストックを使用できる4、5年の間に様子を見ながら決定していく方向でどうか。

事務局

4、5年後代替フロンがなくなった際に、どのような方針になってもよい表現の方法を考えたい。

委 員

与論町で toto の振興くじ助成を使い「ゆいランド」という人工芝のグラウンドが整備された。サッカーだけでなくゲートボールや子どもの運動会等、多種の競技が芝の上でできる。先週行って川淵三郎さんのお話を聞いたが、リゾートとしての観光誘致だけでなく、スポーツも関連付けて、施設を利用する学生なども呼び込みたいという内容だった。体育館などの施設整備が、県外から多くの人を呼ぶことも大きな目的の一つであると感じた。全国規模の大会が開催される施設が上田市にあり、地域の方がその施設を有効活用できることは、市民がスポーツに親しむという点で非常に良いこと。その反面、上田は施設数がある割にはどれも中途半端と言ったら失礼だが、Vリーグを呼ぶことはできるが施設がないという話を2、3年前に聞いた。良い施設ができることによって、競技関係者の方々は競技を普及させようとするだろうし、外から多くの人を呼ぶことができると思う。上田市で全国規模の大会が催せるようになればありがたい。

委 員

市民の森スケート場では毎年スケート場祭を開催しており、多くの方に参加していただいている。地元で気軽に行けるスケート場はやはり貴重だと感じる。スポーツ推進委員は各地域で特色のある活動をしているため、地域の特性も考慮していただければと思う。

委 員

作った限りは当然維持費が必要となるため、ある程度の観客数が見込めるものが必要。最初の計画の時点で3,000席にするのか5,000席にするのかによって金額的かなり違ってくるため、仮設スタンドが作れるという点も含めて考えてもらいたい。また、味の素ナショナルトレーニングセンターの例のように、ネーミングライツという手法があり、経費的にも良いのではないかと。

副会長

大きな施設があれば必ず大きな大会を開催でき、地元への経済効果が大きいと思う。長野大学のグラウンドから駐車場、自然運動公園一帯の場所を有効活用していただきたい。大学の立場からすると、学生が地域のスポーツ大会の運営に関われる環境を整える等、東京オリンピックも控えているという意味でも上田市のスポーツに対するモチベーションを上げていくことが必要。また、今回の平昌オリンピックで盛り上がったように、トップアスリートを育成していく必要があるのなら、環境整備も必要。

会 長

スポーツ推進課の考え方について皆様にある程度ご了解いただけたかと思う。個々の表現の仕方を考えながら、次回以降具体的な話に入っていくと思う。

事務局

今回は、本日お示しできていない真田・丸子・塩田地域協議会の意見を確認し、本日挙げた部分についても再確認をする。また、個別施設計画についてどの程度費用がかかるかといった最終形のもの示せばと考えている。

(2) 次回の開催日程について

事務局 次回は3月中に2回開催できればありがたい。そのうち1回目は、今日の資料に入っていない地域協議会からの意見や本日の審議会の意見等を含め、ご議論していただきたい。そして2回目の会議時に概ねの答申案のまとめを頂戴できればと考えている。次回の審議会は3月12日(月)の夜間を考えているがどうか。

会 長 皆の予定を確認し、第4回審議会は12日(月)夜7時教育委員会第1会議室で決定。第5回審議会は、3月20日(火)夜7時で仮決定

(3) その他

事務局 本日時間の関係で説明しなかった資料や、会議の内容を踏まえて何かご意見等あれば、郵送でご意見を送っていただければ次回の審議会へ反映させる。

6 閉会 (スポーツ推進課長)